



▲釣りは本牧沖の水深20～25メートル前後



●25～30センチ級が主体



●食いが立つと一荷で釣れることもしばしば



●数をのばすにはエサ付けから投入までの手返しが大切

東京湾奥金沢八景出船 手軽で簡単引きもい 東京湾のイシモチ盛況

撮影◎本誌編集部



●スピニングタックルで広範囲を探るのも一手



▲取り込みは竿を立てて餘糸をつかむ



▲仕掛けは胸つき2本バリでオモリ30号
▼エサはアオイソメ、1匹をチョン掛けにして使う



●30センチを超えれば良型

ISHIMOGHI

手軽にだれでも楽しめる小物釣りとして人気が高い東京湾のイシモチ（標準和名シログチ）。ガクガクという派手なアタリとクンクンと強い引きが魅力の魚だ。そのイシモチを看板に掲げているのが東京湾奥金沢八景の黒川丸。目下は本牧沖の水深20～25メートル前後を狙い、22～32センチ前後がいい日はトップで30～40尾と順調な釣れ具合。同船では手軽に釣りができるようにと貸し道具などが充実。ビギナー連れのグループやファミリーの行楽フィッシングにもおすすめです。（詳細は58ページ参照）



●マハタが釣れた



▲アジもよく交じる



●イネモチも釣れた

